

令和 8 年度倉敷市立美術館協議会議事録

開催日時 令和 8 年 6 月 3 0 日（火） 1 4 時～15 時 3 0 分
開催場所 倉敷市立美術館 3 階第 2 会議室
日 程 1 開会
2 教育長あいさつ
3 委嘱状交付
4 委員の紹介
議事
（1）令和 7 年度事業実績・決算見込みについて
（2）令和 8 年度事業計画・予算について
5 その他
6 閉会
出席者 委 員：荻原委員、竹内委員、武本委員、新垣委員、福富委員、
藤田委員、森川委員（7 名）
事務局：仁科教育長、永野生涯学習部長、森館長、杉野主幹
佐々木主任、山吹副主任、三宅副主任、佐藤学芸員（8 名）
欠席者 真重委員
傍聴人 0 名

議 事 録

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 委員の紹介、会長・副会長の選任

議事

- （1） 令和 7 年度事業実績・決算見込みについて

（会 長）「令和 7 年度事業実績」について、事務局より説明をお願いします。

（事 務 局）令和 7 年度事業実績についてお手元の資料に沿って報告します。途中スクリーンに写真を映してご説明します。

～令和 7 年度事業実績と決算見込みについて、資料とスクリーンで説明～

（会 長）ありがとうございました。展示事業やボランティア、寄贈作品などについて説明がありました。やべみつのりと矢部太郎展や倉敷っ子美術展の反響が大きかったと理解いただけたのではないかと思います。皆様のご意見、ご感想を伺えればと思います。

(委員) やべ展と倉敷っ子美術展の来場者数が突出して多いことが特筆されます。倉敷っ子展を40年も継続されているのはすごいと思います。やべ展ではたくさんの連携事業をされたようですが、今年度はそれに代わるような試みをされるのでしょうか。

(会長) 今年度のことは後で説明があるのでしょうか。

(事務局) 後ほど令和8年度の予定を説明しますので、その中でお話をさせていただきます。

(委員) 一言よろしいですか。やべ展は本当に心温まる素晴らしい展覧会で感動しました。会期が長く、たくさんの方と触れ合う関連事業も多くできてよかったと思っています。ただ、入場者数が1万人を下回ったのは意外でした。有料の展覧会となると入場者数が伸び悩んでしまうのでしょうか。その辺り、美術館としてどのようにお考えですか。

(事務局) はい。やべ展は入場者目標を1万人としておりましたが、少し届きませんでした。開催前は子どもたちがたくさん来てくれるかなと思ったのですが、実際は中高年の女性の方が圧倒的に多かったです。もっと子どもたちに向けたメッセージが必要だったと反省しています。例えば今は写真を撮って拡散してそれを見て足を運ぶという動きが強いので、そういう仕掛けを多く設けて、楽しそうだなという雰囲気を子どもたちに届けるべきでした。ここ10年間の入場者数が3万人を超える年は、一年にふたつ特別展をしていましたが、昨年の特別展はやべ展だけで年間3万人は超えました。

(会長) ありがとうございます。ほかに何かご意見等ございますか。

(委員) 3階の遙邨コーナーで定期的に遙邨先生の絵やスケッチを展示されているのを興味深く見ていますが、宣伝の度合いが低いと思います。そういう絵やスケッチを、2階の展示室で公開してはどうかと思います。

(事務局) 2階の展示替え期間中に遙邨のスケッチなどを公開してはどうかというご意見ですが、3階に遙邨コーナーを設けたのは2階の展示会期間中に作品が見られないことが理由です。気軽に遙邨の作品を見ていただけるスペースになっています。2階で展示すると無料とすることが難しいと思います。7月から始まる

遙邨展など今後も様々な展覧会でコレクションを披露していきたいと考えています。

(会 長) ありがとうございました。では令和7年度の事業実績、決算見込みにつきましてはここまでとし、引き続き8年度の事業計画と予算について、事業局の方からご説明をお願いします。

(2) 令和8年度事業計画・予算について

～令和8年度事業計画と予算について、資料とスクリーンで説明～

(会 長) 令和8年度の事業計画予算について、事務局の方から説明してもらいました。意見や感想はありますか。

(委 員) 池田遙邨先生の絵はがきが礼状を書くのに使い勝手が良くて、贈り先から逆にお礼を言われたりします。郵便料金も高くなっていますので、絵はがきなどは減少傾向になると思うのですが、例えば他にファイルなど、何か別のグッズをつくっていくことはお考えですか。

(事務局) 今、絵はがきのほかにマスキングテープもありますが、こういったものしかできないのが実情です。他の施設の状況も拝見しながら、増やせていけたらいいなと考えています。

(委 員) ありがとうございました。

(会 長) 貴重なご意見をありがとうございました。

(委 員) 民間の予算や事業計画では、入館者数の目標数値などがあります。収益に当たる部分の達成目標があるのかお伺いできますか。

(事務局) 公立の美術館ですので、予算を立てて執行していきます。予算を要求する際にどれくらいの入館者数があるのか、どれくらい歳入があるのかは見込んでいます。特別展では実行委員会を構成する事業者と入場者数を予定して収支を算出しています。

(会 長) ありがとうございます。よろしいでしょうか。

(委 員) 入館者数につきましても伺いたいです。昨年度の入館者数が3万2862人ということで、40万人を超える倉敷市民のうち3万人ちょっとしか来ていない。そのような現状が市の目指されるところなのでしょうか。

(事務局) ありがとうございます。確かに少ない数字だと受け止めています。その

ため昨年度は、やべ展で図書館や労働政策課、障がい福祉課などと連携して少しでも多くのお客様に来ていただきたいと30程度の関連事業を開催しました。ただ、結果は目標に達しませんでした。少ないとは思っていますが、そうした活動は継続してやっていかなければいけないと考えております。

(会 長) ありがとうございます。公立館の抱える実態ですが、これだけの人員で活動されているというところを考えると、なかなか厳しい面があると感じました。

(副会長) せっかくやべ展でいろいろな人を巻き込んで成された事業が、今後、何らかの形でつながっていく関係性は保っているのでしょうか。今年度の事業を拝見すると、年に一回だけの特別展が年度の終わりに来て、夏から冬はコレクション展が主な企画となっていますが、その中で地元の他館と連携されるなど工夫をされると思いますが、やべ展で交流があった市の他の課と交流できるような企画を盛り込んでいかれるのでしょうか。中でも、女流作家を取り上げるコレクション展に興味を持ったのですが、新見美術館も女流作家の展覧会を計画されています。そこと連携したり、男女参画課と協力したりすることも考えられます。特別展に依存せずコレクション展を展開することは重要ですが、コレクション展ではお客さんが来ないのも現実です。どの公立館も本当に苦勞している部分ですし、予算的にこうならざるを得なかったのかもしれませんが、今年度のスケジュールで果たして3万人がクリアできるのか懸念されます。後半、特に7月以降が踏ん張りどころではないかと考えます。

(会 長) このことについて館長、よろしいですか。

(事務局) ご意見ありがとうございます。副会長の言われる通りで、鈴木のりたけ展は他の巡回先などの都合上、この時期にしかならなかったというのがウィークポイントです。これから実行委員会をつくりますので、去年のやべ展と連携したいいろいろな部署と再度協力できるよう呼びかけていきたいと思っています。予算は、物価高騰、人件費高騰が市の予算に影響しているのは事実です。とはいえ文化に関する予算が削減されないように、令和8年度予算の要求に当たっても、できるだけのことをさせていただきました。引き続きがんばっていききたいと思っています。

(会 長) ありがとうございます。おっしゃる通り、物価高騰など、非常に苦しく、

小規模事業者などどこも悲鳴を上げています。かといって事業をやめていいというわけにはいきませんので、事業を効率化して同じように成果を上げていく使命があります。この他、いかがですか。

(委員) 素朴な質問なのですが、令和8年度の事業計画を見ると、会期が5日間とか8日間とか、すごく短いなという印象です。展示にむけて陳列やキャプション作りなど大変なので、短い期間で終わるのはすごくもったいない。予算など難しいところではあると思いますが、率直な感想、疑問としてお伝えしておきます。それから、ゴールデンウィークや夏休みに人が多く入る企画があればいいと思います。旅行者だったらインターネットで情報を調べると思うのですが、そこに引っかかるような広報活動を展開されてはどうでしょう。

(事務局) 今年度の鈴木のりたけ展なのですが、年度末から始まって5日間とありますが、展覧会自体は5月9日まで続き、ゴールデンウィークの人出を見込んだ展覧会となっています。記載の仕方が十分でなく申し訳ありません。隣接する美観地区は、閑散期は2月ぐらいで、あとは年間通じて人が多いと言われています。当館はインスタグラムを週に2、3回更新していますが、広報がうまくできていないのは確かです。ここもまた力を入れていかないとはいけません。なお、外国人の方が実際によく来られます。事前に情報を集めたというより、看板やチラシを見て来館することが多いようです。5月末まで開催していたコレクション展のチラシに屏風の画像を載せていたところ、それに惹かれて美術館に来たという外国人の方がたくさんいました。東洋的なものを求めている人もいるということです。そうした発信の仕方にも必要と思います。

(会長) ありがとうございます。その他ありますでしょうか。

(委員) 市の広報紙を読むと、隣接する図書館の移転が3年後に決まったとありました。建物は取り壊すというので、それに合わせて美術館をリニューアルするのでしょうか。何十年に一回あるかどうかのチャンスですので、レイアウトも変えるなど、良い美術館になるように広く市民の声を聞いたらいかがでしょう。3年後か4年後に向けて、今から準備していけば良いのではないのでしょうか。

(会長) ありがとうございます。

5 その他

(事務局) 実は本日のプログラムの「その他」で説明させていただこうと思っていましたが、美術館と同じ敷地内にある中央図書館と自然史博物館が近く移転します。昭和58年に文化ゾーンとして同時開館して一緒にやってきましたが、美術館のみが残ることになりました。図書館、博物館の跡地をどのようにするかは未定で、美術館は地震に耐えうるよう長寿命をしないとはいけません。工事の期間中は休館になります。概要が決まりましたらまた先生方の御意見を聞かせていただきたいと思いますと考えています。

(会長) ありがとうございます。様々なご意見をいただきました。他に、よろしいでしょうか。それでは、進行を事務局にお返しをします。ありがとうございます。

(事務局) 委員の皆様からいろいろなご意見、ご指摘いただきました。これからの美術館で役立てていこうと思います。議事はここで終わりということにさせていただきます。最後に副会長からご挨拶いただけますでしょうか。

6 閉会

(副会長) 夏を前にしたジメジメした時期にこの会にお集まりいただきありがとうございます。委員の皆さんの忌憚のない様々なご意見を聞くことができました。現状はなかなか厳しく、その中でも館の皆さんが一生懸命頑張ってくださいていることを我々委員は陰ながら応援できればと思っています。今年から2年委員を仰せつかりましたので、我々にできること、協力できることがありましたら声をかけてください。我々もこうしたらいいというようなことがあれば、館の方に伝えていく。対立するのではなく、一緒に館が、倉敷が、そして広く岡山の文化的な活動が活発になっていくように協力してやっていけたらと思っています。夏の暑い時期をこれから迎えますが、どうぞ館の皆様も委員の方々もご自愛ください。今日はお集まりくださりまして、ありがとうございます。

(事務局) どうもありがとうございます。それでは、これをもちまして令和8年度倉敷市立美術館協議会を閉会とさせていただきます。ご審議の方、どうもありがとうございます。

以上を令和8年6月30日開催の令和8年度倉敷市立美術館協議会の議事録
(要旨) とすることに同意します。

令和8年 7 月 23 日

倉敷市立美術館協議会

会長 森川 政典

